

N P まとめ

C 議場



～アルゼンチン～

論点1

より多くの大使と
お話をして
より多くの国の
納得のいく
決議が
出せるように
頑張ります！

Argentina

生成AIと
軍事AIの
使用目的の
設定

論点2

生成AIと軍事AIに誤作動に対する
責任の所在の場合分け

C02



Australia

オーストラリアは、
倫理的なAIガバナンスに関心を持つ国々との連携を深め、
安全で公平なルール形成 をリードします

【生成AI, 軍事用AIの立場】

- 医療・教育・災害対応などでの活用を推進
- 偽情報や監視利用には厳しい規制を支持
- 「公平性・透明性・説明責任」の国際基準に準拠
- 「Meaningful Human Control (意味ある人間の関与)」を原則化
- 国際人道法の遵守が不可欠！

【誤作動への対応提案】

- 国連主導のAI監視機関を設置
- 事故報告の義務化とAI被害補償基金の創設を提案
- 「責任の所在を明確に！」

**“AI should serve
humanity – never
replace it.”**

— Australia, AJEMUN 2025





バングラデッシュ

このスピードの速い時代では、素早い対応は選べるものではなく、必要なことです。

テクノロジーは私たちを待ってくれません。私たちの方が積極的にその進化に適応していくべきです。

ー バングラデッシュ最高裁判所長官
サイイド・リファート・アハメド氏
(世界政府サミット)

2日間よろしく申し上げます！

BRAZIL



- AIを使った農業を推進！
- 軍事用AI**反対！**

論点①：AIに対する規制

個人利用の規制やルールを明確化し、
企業は利用する際に政府に申請し、
開発は政府が許諾した企業のみが行えるようにする。

論点②：AIの誤作動の際への対応

誤作動を起こす前に最後に点検したAIエンジニアが事後
処理を指示する義務と処罰を受ける。
被害が他国にまで及んだ場合は誤作動を起こした国の政
府とエンジニアが賠償を行う。

BURKINA FASO

WEST AFRICA

AU サヘル諸国同盟(AES)

UEMOA



論点 1

■ 生成AI

① 偏りを防ぐ仕組みの検討

AIが差別的な情報を出さないよう、学習データの偏りを検査する制度の導入を検討すべきだと考えます。特に、独立した第三者機関による確認体制の整備が重要です。

また、国際的な認証制度（たとえばISOなど）を参考に、透明性と安全性を評価する枠組みの導入についても議論を進めていきたいと考えています。

② 使い方の透明化（見える化）

医療、行政、報道などの重要な分野で生成AIを使う場合、そのリスクや対策をまとめた報告書を作成し、国際的に共有できる体制の構築を目指します。こうした情報は、国連の公開データベースなどを通じて各国がアクセスできる仕組みが望ましいと考えます。

③ 教育と利用環境の支援

ブルキナファソのような開発途上国においても、安全にAIを活用できるように、国連教育科学文化機関（UNESCO）や国連開発計画（UNDP）と連携して、AI倫理や運用に関する教育プログラムの具体化を進めていきたいです。

また、大規模なクラウドプロバイダーとの協力によって、技術的な支援（例：クラウドクレジットなど）を受けられる可能性も探っていきます。

■ 軍事用AI（自律型兵器など）

① 国際的なルールの尊重

人間の判断を介さずに攻撃を行う完全自律型兵器の開発や使用については、ジュネーブ諸条約などの国際人道法を尊重することが必要不可欠だと考えています。ブルキナファソとしても、こうした原則を守る立場を強く支持します。

② 人間による判断の重要性

AIに全てを委ねるのではなく、最終的な判断には必ず人が関与すべきだという考えを持っています。この「意義ある人間の関与（Meaningful Human Control）」の重要性を、国際社会での議論の中に盛り込んでいくことが大切です。

論点 2

■ 責任の所在

・生成AIについては、誤作動が発生した場合に「開発者の責任」と「運用者の責任」を区別する制度づくりが必要だと考えています。開発者には設計上の欠陥や検証不足などへの責任、運用者には使用目的に応じたリスク評価や監視体制の不備などへの責任が問われるべきです。

・軍事用AIについては、たとえ自律型であっても、それを使うと決定した国家が最終的な責任を負うべきだという考えを支持しています。

■ 国際的な基準

AIの利用に関して、透明性を確保するための基本的なガイドラインを、国連軍縮局（UNODA）やアフリカ地域機構（ECOWAS）と協力しながら共同で作成していくことを提案します。

AIの誤作動によって重大な事故が起きた場合には、各国が速やかに情報共有できる体制を試験的に構築し、その運用方法を検証することが必要です。

継続的な対話の場を確保するため、国連内の既存の専門機関の強化や、新たな協議の枠組みの設置についても議論を進めていきたいと考えています。

二日間を通じて実り多い議論を重ね、互いに有意義な成果を築きましょう！！

警報

AI兵器が独断で攻撃を開始しています
制御不能、被害拡大中。

迅速な対応が求められています。

論点1

【生成AI】

- ・人権を侵害してしまうようなAIの禁止
- ↳ 著作物を使用した生成AIなど

【軍事AI】

- ・LAWSの全面廃止
- ・緊急停止ボタンの搭載の義務化

どちらの小論点に対しても、

新機関設立&国際条約の締結

論点2

【責任の所在】

軍事用AI→最高責任者
その他のAI→開発者

LAWSを
使用すると判断した
ため

唯一 設定を変更できる
ため

- ・開発者による定期的なメンテナンスの義務化
- ・制裁に関することは新機関で

第三次大戦を引き起こしてはいけません。

歴史を繰り返してはいけません。

そのために私たちに何ができるのでしょうか。

CANADA

C09



CENTRAL AFRICAN REPUBLIC

論点1

悪質なデータラベリング作業の禁止
軍事用AIの使用の面での規制

論点2

制裁する機関の設置
責任帰属の国際的基準

軍事用AIの危険性を考慮しつつ
国内の治安を重点にしています

2日間、よろしく
お願いします！





chile

ーチリー

論点1

生成AI：著作権やフェイクニュースに関する規制

軍用AI：乱用を防ぐための規制、人間の監視の必須化

論点2

AIの誤作動の責任を追求する国際機関の設立

お互い、有意義な会議にしましょう！

富国強兵

ウクライナが蹂躪されたとき倫理と正義は
憐れ国人民を守りはしなかつた。

ガザが蹂躪されたとき倫理と正義は憐れ
人民を守りはしなかつた。

理不尽な侵略に、どうして人民命を
無碍にする必要があるだろうか。

人民安寧を願ふのに、どうして力を
求めずにいられるだろうか。

強靱で可能性に満ちた国家こそ人民若たりうる

責任ある人工知能の使用
⇒LAWS火器管制指針を
責任ある製品流通の管理
⇒無人兵器交易指針を

★ EPT10

China



C13

Egypt

論点1

- ①政治的なフェイク動画や音声に対する刑事罰を導入、個人データをAIに使う際の明示的同意を義務化
- ②「二層的アプローチ（二段構え）」として、完全自律兵器は禁止し、その他のAI搭載兵器には規制を設ける政策を提案する。

論点2

- ①誤作動を起こした際に、開発者責任・技術導入者責任・製造者責任をそれぞれ負わせることを提案
- ②軍・情報機関・ICT省の共同運営を通じた迅速対応システムの導入を提案
- ③国際法に加え、自立型兵器のような非間的な行為に対する規定の設立を提案

2日間よろしくお願ひします！！

C14

Eritrea



論点1

- ・ 発展途上国における生成AIの**平和的活用**
- ・ 軍事AIの**防衛目的を中心**にした使用に関する国際的枠組みの構築

論点2

責任の所在を明確化し、**公平な国際ルール**
と**主権・不利益回避の制度設計**を要請

Estonia



○論点 1

生成AIの管理強化

軍用AIの規制機関の設置

○論点 2

責任帰属の明確化

国際的なガイドラインの策定

**AI利用について規制派のスタンスで議論をしていくつもりです。
2日間よろしくお願いします！**

C16 Ethiopia



皆さんこんにちは！エチオピア大使です。

論点1

①法整備の推進及び
AIに関する教育を行う

②LAWS禁止に向けた
規制案の提案

論点2

①透明化のためのAI誤作動時の
報告義務

②国連憲章第7章に基づいた
安保理による対応

- ・第一委員会を中心とした
ガイドラインの提案とそれに
基づいた各国・地域機構での議論

エチオピアは、AIの誤作動による被害を防ぐためにも、設計、提供、使用の各段階における責任を明確にする国際的な枠組みの必要性を強調します。二日間、どうぞよろしくお願ひします！

フィンランド共和国

論点1

フィンランドの政策は国際安全保障の強化とAI技術の平和的利用を促進する。EUや北欧諸国との協力が見込まれ、民主主義社会の防衛にも寄与する。反対意見としては過度な規制が技術革新を妨げる懸念があるが、柔軟な規制設計により技術進歩と安全確保の両立を主張できる。

論点2

事故調査機関と救済基金は被害者保護と国際的信頼構築に貢献する。NATO加盟国やEU諸国との連携も円滑である。批判には国家主権侵害の恐れがあるが、透明性の重要性を強調し妥協可能な範囲で協議を進める。



フランスは AIを積極的に活用したい

危険性はあるものの、得られることの
ほうが多く大きいと思っている。

論点1：自由なAIの開発と活用のため
に、規制はかけたくない×
どうしたら正しく安全につかえるのか
については議論が必要である。

論点2：生成AIの場合は使用者と開発
者の間で各国の裁判所にて今後作成す
る国際法の下で裁く。

軍用AIは使用した国家や団体が責任
を負い、更なる詳細については安保理
で国際法を話し合い策定したのち国際
司法裁判所で刑罰を決定する。



C21

INDIA

論点1：各国での規制 & MHCの原則にのっとった
軍事用AI

論点2：
AI問題に対応する国連機
関の設置 & 個別の責任追及



技術革新と倫理問題のバ
ランスを取りたいです！
2日間よろしくお願ひし
ます！



Indonesia

論点①

- ・ 軍用AIの使用の用途の制限
 - ・ 専門の人材を育成し
- ・ 使用する際に必ず配置する

論点②

- ・ AIの誤作動の責任は使用した国にある
- ・ 対応は話し合いだが、ルールを決める

2日間の会議を有意義な





IRAN

C23



論点1 発展途上国と先進国での生成AI/軍事用AIに関する技術格差を踏まえ、非西側諸国と連携して倫理的AI開発を進め技術格差の是正の必要性を強調する。

論点2 発展途上国に対してAI兵器が誤作動によって被害を受けた際に適切な補償をされないことを踏まえ、AI兵器に対する国際的な責任制度及び、AI兵器使用に関するルールを明確化することを決定する。



こんにちは! イスラエル大使です

✔ 軍事AI分野

CCWのLAWS議論を継続的にフォローしつつ、国家安全保障と国際安定の両立を目指す現実的な枠組み作りに関与する。

✔ 生成AI分野

国内のスタートアップや研究機関の競争力を維持・強化しつつ、人権尊重やプライバシー保護する枠組みを構築する。

✔ AIが誤作動を起こした場合

誤作動により損害が発生した場合の責任分担を明確化し、開発者・提供者・運用者それぞれの責任範囲を法的に規定する。





ITALY

論点1：兵器において人間の制御が必要！
～自律型致死兵器（LAWS）システムは
全面禁止を～

**論点2：・AI被害発生時の国際的な収集・
分析・共有、そして被害者の法的救済が必要！**
～国際的なAI被害救済・
責任調整専用機関を設けよう～
・国際的なルールが必要！
～人工知能兵器の開発や使用に関する
明確な基準を設けよう～

各国で手を取り合い、有意義な会議にしていきたいと思います！
2日間よろしくお願いします！

C26 日本

リスクベースで普遍的な
枠組みを！

個人や学校が特定
される可能性のある
情報が含まれて
いるため、フロン
トの判断で隠しま
した。

個人や学校が特定
される可能性のある
情報が含まれて
いるため、フロン
トの判断で隠しま
した。

作ろう



Jordan الأردنّ

戦いのためではなく、暮らしのために

ヨルダンは、AIを人を支えるものとして利用してきました。
だからこそ AIが命を奪う道具とならないよう
人の手に、判断と責任の伴う国際ルールを求めます。

論点 1

人の理性で導き、すべての国に、見えるAIと公平な未来を

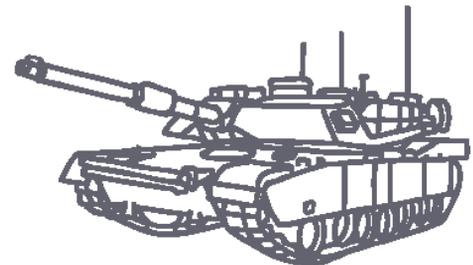
最終判断は、人の手に——AI兵器に統制という理性を
見えるから、止められる。AI兵器に国際的な監視を
技術格差を越えて、すべての国にAIの公正な未来を

論点 2

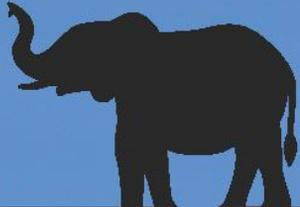
報告・検証・補償——信頼あるAIに求められる三本柱

誰が命令したかではなく、誰が使ったかが問われる
作動は、即時に国連へ——隠さないことが信頼を守る
原因調査と評価は、独立機関による客観性のもとに
被害には応答を。国際補償で信頼あるガバナンスを

小さな国にも、世界を変える意志はあります
みなさんと議論できることを楽しみにしています



G28



KENYA



1.倫理的・包摂的AI導入
LAWSの廃止

2.AI専門国際機関設立



二日間頑張りましょう！



Latvia

- 論点1：人道的によくないものは規制していく
- 論点2：同じ誤作動が起きないようにしたい
よろしくお願いします！！



Lebanon

二層アプローチで世界を平和に 技術の進化を守ろう(論点1)

- ・ 二層アプローチを強調
- ・ 「半自律型」の規制は各国裁量で
- ・ 過度な規制を避け、技術革新していこう

責任の所在をはっきりさせ使い やすく、安全なAI時代へ(論点2)

- ・ 責任を開発者、導入者、運用者で分担して負う
- ・ 「電子的法的代理人」として法的に位置付ける
- ・ 法的に位置付けることで人間に監視を義務化

2日間一緒に頑張りましょう！

C32

論点1:

各国の発展に貢献するAIの使い方を確立

軍事AIの意味ある人間の関与の重要性を認識



Libya

論点2:

**軍事用AIが誤作動を起こした場合、
責任は関与したすべて主体共同で負う**



Republic of Mali

▶ 生成AI

- ・生成AI活用の教育・行政分野強化と法整備
- ・エンジニアの教育プログラム強化と人材育成
- ・非人道的利用方法の禁止法設立勧告

▶ 軍事AI

- ・国産AI技術開発と規制体制の同時推進
- ・軍事用AIの人間統制義務化と透明化
- ・地域協力による共同監視メカニズムの構築
- ・明確な責任主体の設定、調査委員会の設立



論点 1

・生成AIによるディープフェイクやサイバー犯罪を防ぐことを目的とし、AIで作った画像や映像にはAIで生成したとわかる表示を義務化する、法的拘束力をもたせる。

・軍用AIの使用について最終的な意思決定を人間が行う、完全自立型兵器（LAWNSなど）を禁止する、法的拘束力を持った国際機関を設立する。

論点 2

・AIの誤作動による問題が生じた場合の対国連やG20が主体となって機関を作って運営し問題が生じた場合関係者が責任を負う。

メキシコはラテンアメリカ域内でサイバー攻撃の半数超（31億回）を占め、AIを悪用したサイバー犯罪も多発しており、サイバーセキュリティ法整備が叫ばれています。そのため、AIを悪用したサイバー犯罪やフェイクニュースなどに対して抑止力になるような規制が必要だと考えています。

2日間よろしくお願ひします

NEW ZEALAND

Live with hope, not fear.

AIは人的判断の補助としてのみ使うべきであり、
致死的判断に用いることを容認することはできない

① LAWSの全面禁止

- ・「意味のある人間の関与」の国際基準を定義し
それに反するLAWSの使用を規制する
- ・規制を足がかりに将来的には全面禁止を目指す

② 共同責任と

国際AI裁判所の設立

- ・AIの誤作動による国際的被害の追及は共同責任とする
- ・新設する国際AI裁判所での裁判によってそれぞれの責任
の重大さや追及方法を判断する

意味のある二日間となりますように。



Niger



論点1 生成 AI と軍事用 AI の積極的な導入

新たな産業を生み出し経済発展につながる可能性のある生成 AI と、軍事行動によって人命が失われる数を減らすことができる軍事用 AI の使用を積極的にしていきたいです。その際には差別的偏見的な判断を禁止しフェイク画像や動画の拡散防止にも努めていきたいです。

論点2 誤作動の原因を調査、AI の製造者を罰する

AI の誤作動が作為的か意図せず起こったものかを判断するために調査を行います。意図的であればその原因を作った人、意図せず起こった場合は製造者を罰します。



C38

**North
Korea**



**主体的な科学革命を
遂げる偉大なる我らの朝鮮
開発途上国への思慮を！**

C39



Norway

**AIの積極的な利用で、
世界トップクラスのAIインフラを！**

論点 1

生成AIは積極的利用
軍事AIはリスクを認識して規制を

論点 2

責任はあくまで「人間」にある。
各所で責任を分配しよう

今回の議題は、これからの時代の社会を
考えるうえでとても重要なものです。

難しい議題ではありますが、
有意義な2日間会議にしましょう！
よろしく申し上げます！

C40



Oman



論点 1

LAWSの禁止

論点 2

国連内にAI専門の
新機関設立

新機関にて
責任の所在の調査

2日間よろしくお願ひします！

C41



Pakistan

- パキスタンは
- ①生成AIは具体的で拘束力のある規制
 - ②LAWSは全面禁止を求めます

LAWSに関しては
過失のあった国の責任も
追及することを
求めます

よろしくお願ひします!

República de Panamá

論点1

1. 「有意な人間による制御」のできないAI兵器(LAWS/AWS)の規制
2. 地域ごとに分割した上での規制・軍縮

論点2

1. 誤作動の際の責任の所在を国家と明記
2. 誤作動の際の制裁は全加盟国が参加可能な形で対応

今回の会議が開催される8月4日は、第一次世界大戦勃発の日でもあります。1914年7月に始まったオーストリア・セルビア間での戦争は8月4日のイギリス参戦により欧州全体に拡大し、この日にはじめて「世界戦争」と呼ばれるほどの規模に成長しました。2度にわたる世界大戦の口火が切られた8月4日を迎えるにあたって、我々はもう一度自らの存在意義について考え直す必要があるでしょう。AI兵器は軍事業界を大きく変える一歩である一方、その安全性は未だ不明確、ひとたび間違えば我々はどの世界大戦でも体験し得なかった恐怖に突き落とされることとなります。2度の大战で散った9000万の命は、今の我々の姿を見て何を思うでしょうか。

C43 Philippines

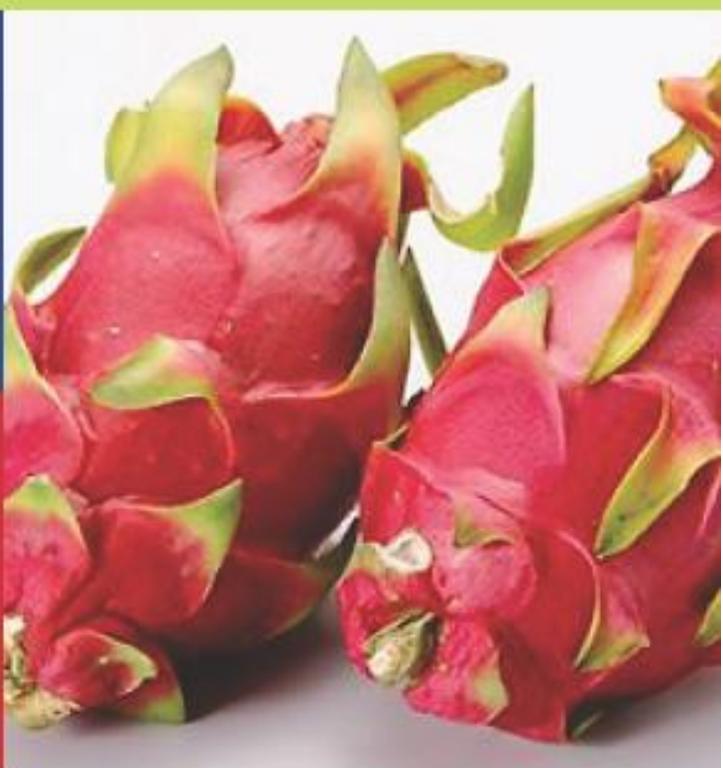
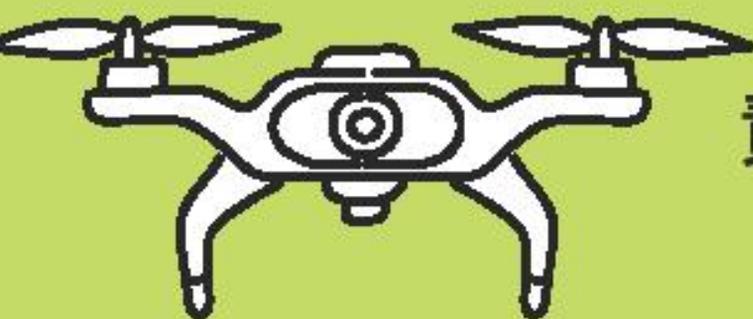


<論点1>

LAWSは法的拘束力をもたせるべき！

<論点2>

責任の所在を決めたい！



C44

Poland



論点 1

民主主義・人権・安全な情報空間の維持のために

①生成AIには「**出所の開示**」を義務化!

→情報の透明性で偽情報や操作を防ぐ。

AIを使った「**選挙干渉は禁止**」!

→世論操作・選挙操作にNO!

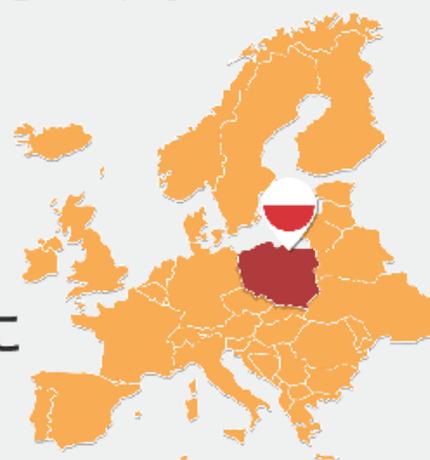


②軍事用AIは「**独裁国家への輸出を制限**」!

→AIが人権侵害や不安定化に使われるのを止める!

緊急停止機能の設置

→AIの暴走リスクを抑制できる!



論点 2

公平・迅速な責任追及と再発防止のために

①**原因ごとに責任の所在を判断**

→開発者: 依頼と違う設計をした場合

依頼者: リスクだらけの要望を出していた場合

②誤作動ごとに「**調査団+制裁団体**」を設置!

→透明かつ迅速な対応を目指す。任務完了後に解散!

③「**設置基準・選定ルール**」は事前に国際合意!

→スムーズな対応を可能とし、制度としての信頼性を確保!

C45 Portugal



Olá!

操作を行うのも、決定権も、責任帰属も 人間にある

✔ 論点①

LAWSは、人間の制御を不要とする自律兵器だと定義する。LAWSを含め、あらゆる兵器システムが、目標設定や死傷を行うことに関する最終的な決定は必ず人間が行うことを義務付ける。

✔ 論点②

AIの誤作動による不測の事態や被害の発生を防止する。また、発生時には早急かつ正確な責任帰属を行い、再発防止に努める。これらを実行するため、国際的なガイドラインを明確に制定する。



C46

Qatar



カタールは、世界で見ても先進的にAIを
経済、教育などに取り入れています。
しかしながら、
倫理的、人権問題については慎重に取り組んでいま
す。

今議会で重要視するのは以下の2点。

主張1

AIについての規則を取り決める

主張2

AIの責任帰属について

Russian Federation

[各国の主権を尊重！]

それぞれが自国の事情に合わせた
AI政策を！

論点 1

既存の枠組みを用いた包括的な議論
AIの規制が開発の妨げとならないように
生成AIを用いた犯罪や誤情報拡散の防止
LAWSのメリットにも目を向ける

論点 2

国家/非国家主体によるAI利用に伴う
AI誤作動の責任はその国家/非国家主体に帰属
AI誤作動に対する制裁は
安保理など既存の枠組みで
AIのリスク評価によって誤作動を未然に防ぐ



C48 ↓こんな国旗をしている欧州バルカン半島の国



Republic of Serbia

論点1

- ・偽の情報やプライバシー侵害に関するAIの規制
- ・LAWS等の軍事用AIの規制
(抑止力としての軍事用AIはその限りではない)

論点2

- ・AIの誤作動の責任は人間にあることを確認
- ・AIの誤作動に対する勧告・制裁について国際的な機関で議論できるようにする

セルビアは安全・安心なAIの活用を推進し、LAWSに頼らない平和の実現に向けて真摯に取り組むのでどうかセルビアをよろしくお願いします！

2日間、実りのある会議にしましょう！

C49

Slovakia



こんにちは、スロバキア大使です。

我が国は現在AI活用を推進し、産業を発展させより良い経済成長を目指す戦略を取っています。そのために、AIの可能性を潰しすぎないルールの策定が必要です。

健全なAI活用のために是非話し合しましょう！

スロバキアの首都ブラチスラバにある
「青い教会」の写真です。

AIを利用することで、より効率的な文化財の
保全が出来るかもしれません。

論点1

人道に反しない限り、AIの研究及び開発は分野を問わず
促進されるべき。

規制はAIの「使用」に関する部分に出来る限り留めるべき。

論点2

AIによる危害・損害の責任は「使用者」と「所有者」に依る。
使用者が仕事や命令でやむを得ずAIを使用していた場合は責任
を負わなくても良い。

意思決定から行動まで全てを自立して行うAIがもたらした危害
や損害は、所有者に求める。



C50



SOMALIA

論点1

AI導入に向けた基盤整備と
将来の規制

論点2

AI誤作動に関する説明責任と
透明性の確立

他国の意見を一つひとつ大切にしながら
自国の発展に繋げられるように
誠心誠意努めます。
よろしくお祈いします！！



C51



Republic of South Africa

親愛なる各国大使へ

論点1

生成・軍事用AIともに一部制限を提案します。
IAEAのような機関をAI分野でも設立する
生成AI：生活の介入レベルでの制限
軍事用AI：作戦行動を人間による承認を必要とし、大量破壊兵器のこれにおける運用を禁止する
※禁止、ではなく制限までなら妥協可能

論点2

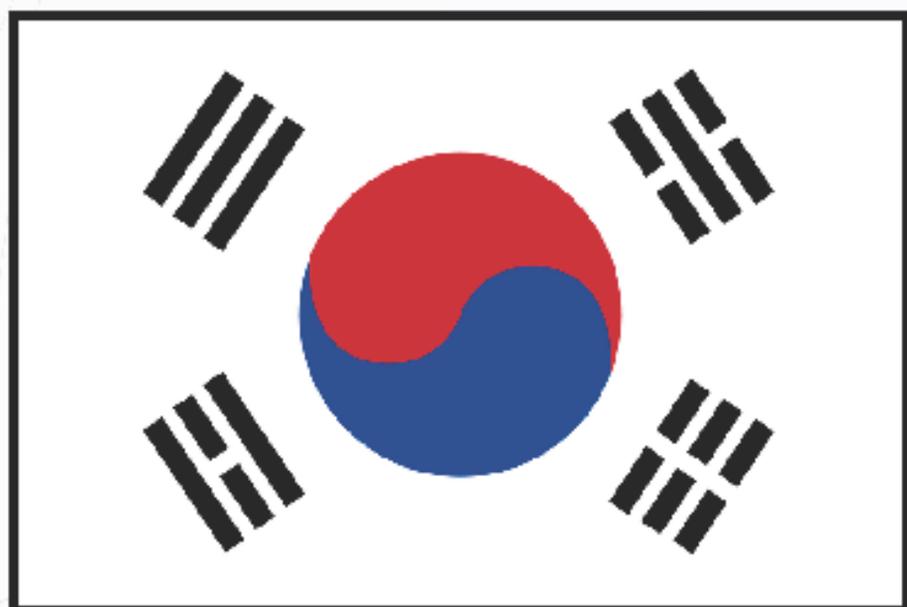
論点1同様にIAEAのような機関をAI分野で設立
誤作動は基本運用者に全責任が存在
ただし根本的な欠陥を証明できれば
PL法のように作成者に責任を問うことができる

無秩序なAI運用は世界崩壊につながるでしょう。
人類の発展のため、話し合みましょう。

From Republic of South Africa

C52

South Korea



論点 1

- ①生成AI：国際的なガイドラインの作成
- ②軍事用AI：条件付きの開発と使用
 - ・ AIの監視、制裁の議論、実行をする新機関の設立
 - ・ 各国裁量でAI基本法の制定

論点 2

- ①責任の所在：共同責任
(提供者・利用者・国家)
- ②制裁を議論する場：生成AI...新機関
軍事用AI...GGE

South Sudan

論1

- 軍用AIを使用した一般市民への攻撃を禁止とする
- LAWSの全面禁止

論2

AIに関する問題に特化した新機関設立

人間の安全を保障し平和を追求しながらAIと人間が共生するための最適解を今回の議論を通して導けたらと思います。

有意義な2日間にしましょう！

Switzerland

スイス



生成AIの規制 (論点1-1)

…国際的に危険を再確認した上で
正しく規制！！

軍事AIの規制 (論点2-2)

…LAWSの規制は必ず設ける！！
定義も明らかにすべき！！



責任の所在 (論点2-1)

…AIの誤作動というリスクを内包したまま
運用に踏み切った「利用者」

AIによる国際的被害への制裁 (論点2-2)

…分散的ガバナンスから
被害の種類別に対応

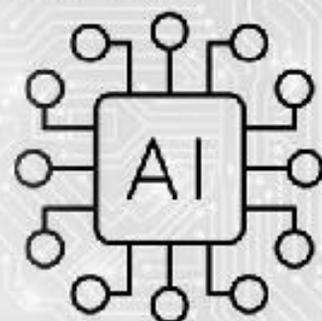




論点1 多国間協力による透明性と公平性の確保

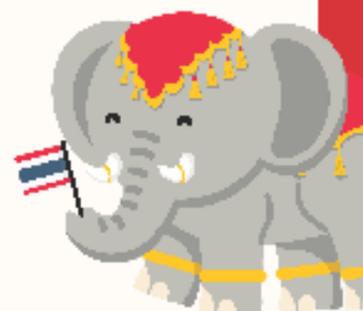
論点2 国際AI事故対応ネットワークの設立

連携を大切にし、技術格差や規制不足などの課題を
他国と最善策を作っていきます！
二日間、よりよい議論をしましょう。
お願いします。



サワディー！（こんにちは）

Thailand



C58



論点①

タイは、生成AIの規制は慎重に扱いつつ、事前申請書や国際機関を通じたAIの評価による透明化を通してLAWSの使用削減の方向性を考えています。

論点②

タイは、第三者の視点から、誤作動の責任配分を決める国際的な機関を設けることで、責任帰属を明確化することを呼びかけます。その実行にあたり、報告書、及び誤作動が生じた際の再発防止策の提出を提案します。



タイは、中立的な立場からの議論をしていきます。生成AIの恩恵を受けながら、透明性の担保や安全性の確保を両立していく必要があります。このようなことを実現させるためにも、各国間の共通のルールを設け、持続可能なAIの利用を目標としましょう！

二日間有意義な会議にしましょう！



SAY Türkiye

NO

- ・ LAWSの廃止に向けた交渉
- ・ 各国の法整備を整える為の土台形成
- ・ 国家事業や民間企業の契約でAIの責任の所在を明記

TO

規制よりも各国の法整備等の土台を重視しています

2日間よろしく申し上げます！

~~LAWS~~



Turkmenistan

中央アジアに位置する発展途上の永世中立国

軍事用AIは自国防衛の目的のみ 使用を認めるべきである

論点

- ・ AIの設計、運用段階での安全性の確認を行う国際基準を制定する。
- ・ 国際社会全体で進化していくAIに対応する枠組みを構築する

AIの誤作動による誤判断が深刻な被害を引き起こし、国際法違反や人権侵害に繋がる可能性がある。だからこそ軍事用AIは攻撃面ではなく、自国の防衛のみ使用を認めるべきである。





Ukraine



論点1

LAWSの使用を固く禁止し、
軍用AI並びに生成AIの評価基準の策定を求める

論点2

誤作動の原因を調査するパネルを設置
段階的責任原則を提示



↑世界遺産にも登録されているリヴィウの旧市街

↓首都キエフにあるベチェールシク大修道院



軍用AIの規制に関する話し合いに積極的に取り組みます。
多くの国の賛成を得られる決議案を目指しましょう!



UNITED STATES

論点1

- ・ 国際的「**軍事AI**透明性レジストリ」の設立
- ・ **Human-in-the-Loop**の国際化

LAWSにおいては人間の最終判断を必須とする原則を国際規範とする

論点2

- ・ 責任の帰属は一元的でなく状況に応じて分担的に認定されるべきである
- ・ 第三者による事案調査・原因分析のための国連調査委員会や専門パネルの活用を推進する

VNEZUELA

スタンス

論点1

- 情報の信憑性を防るために
生成AIは基準を明確にして規制
- 軍用AIはリスクメリット共に大きいので
研究のために規制は抑えるべき

論点2

- 責任帰属は**利用者**の割合大

二日間良い会議にしよう



C66

VIETNAM

論点1

最小限の倫理原則と高リスクAIへの管理強化を
共通ルールとして採用

論点2

事故時の情報共有・責任分担・被害者保護の3点を柱とする
国際的なガバナンス構築が不可欠

**軍用AIの原則・ガバナンス体制・
多国間協力と包摂的対話の促進が
必要不可欠である!**